

年末手当第2回交渉！

要求の根拠を主張！！

組合側

- ① 輪軸の不適切事案からの信頼回復に向け、全組合員で取り組み努力してきた！
- ② 若い組合員は、現在の賃金では自立して生活できない！
物価高騰が続き、**生活が非常に厳しい！**
- ③ **若年層の離職者が後を絶たず**、離職防止の為にも労働条件・職場環境はもちろんだが、まず引き留めるために**満額を出すべき！**

会社側

- ① 会社として、社員の頑張りを見ていないという事は絶対はない。
- ② 会社としても、離職問題の意識はある。退職者を出さないという点では労使で一致している。会社としてメンター制度をプランナー職群で導入した。
- ③ 組合の主張は受け止めるが、年末手当は業績給という位置付けには変わらない。
半期の業績・足元の動向・社員の頑張りを見て判断する。

会社は青年部の努力に対して、姿勢で応えるべきだ！！

青年部の結集と意思統一をはかり、満額回答に向け

最後まで闘い抜こう！！！！